

「京都 日本画新展 2019」実施概要

1. 運営体制

- ・ 推薦委員 (50 音順、敬称略)
 - 石股 昭 (奈良芸術短期大学教授)
 - 雲丹亀 利彦 (京都精華大学教授)
 - 大沼 憲昭 (嵯峨美術大学教授)
 - 川嶋 渉 (京都市立芸術大学教授)
 - 菅原 健彦 (京都造形芸術大学教授)
 - 西久松 吉雄 (成安造形大学名誉教授)
 - 村居 正之 (大阪芸術大学教授)
- ・ 審査委員 (50 音順、敬称略)
 - 太田垣 實 (美術評論家、元京都新聞社美術編集委員)
 - 國賀 由美子 (大谷大学文学部教授、大谷大学博物館館長、
元滋賀県立近代美術館専門学芸員)
 - 野地 耕一郎 (泉屋博古館分館長)
 - 畑 智子 (京都府：京都文化博物館学芸課長)
 - 森口 邦彦 (友禅作家、重要無形文化財保持者)
 - 山田 諭 (京都市：京都市美術館学芸課長)

2. 実施フロー

- ・ 原則として、京都を中心に活動している、あるいは京都にかかわりの深い概ね 25 歳から 45 歳の日本画家を対象に、推薦委員が出品依頼候補者を選出し、本人の参加意思を確認の上で出品していただきます。
 - 「京都 日本画新展」出品作品数
 - …第 1 回 37 名、第 2 回 38 名、第 3 回 37 名、第 4 回 37 名、第 5 回 38 名
 - 「続『京都 日本画新展』」出品作品数
 - …第 1 回 39 名、第 2 回 38 名、第 3 回 38 名、第 4 回 38 名、第 5 回 39 名
- ・ 出品作品の中から大賞 1 点 (表彰楯と賞金)、優秀賞 1～2 点程度 (表彰楯と賞金)、京都府知事賞、京都市長賞、京都商工会議所会頭賞 (予定) を審査委員が選出します。
- ・ 作品は美術館「えき」KYOTO での作品展、ホテルグランヴィア京都フロントメインロビー 2 階等での展示のほか、J R 西日本の媒体、京都新聞紙上等で紹介します。

3. 作品の条件

テーマは自由。各 1 人 1 点のみとし、未発表作品に限ります。

- 1 点の大きさ 80 号 M (1455 mm × 894 mm) 以上から
100 号 S (1620 mm × 1620 mm) 程度まで ※額縁は 70 mm 以内とする

4. 作品の発表

作品の発表機会の提供を本賞の特徴とします。

【「京都 日本画新展 2019」の概要】

(1) 美術館「えき」KYOTOでの作品展

J R京都駅ビル内の美術館「えき」KYOTOで作品展を開催します。

会期：2019年1月25日（金）～2月4日（月）

午前10時～午後8時（最終日は午後5時閉館）

（作品展には推薦委員にもご出品いただきます）

(2) ホテルグランヴィア京都での作品展

J R京都駅ビル内のホテルグランヴィア京都フロントメインロビー2階等で作品を展示します。

会期：2019年2月初旬～4月中旬頃（予定）

※ 一定期間での展示替えを行います。推薦委員の作品は除きます。

(3) J R西日本発行物での作品紹介

作品をJ R西日本発行のパンフレットなどで紹介します。

(4) 京都新聞紙上での作品紹介

受賞作品を中心に京都新聞の特集紙面で紹介します。

5. 付記

「京都 日本画新展」および、「続『京都 日本画新展』」において、その実施にご尽力をいただいた下記の方々に、「本展アドバイザー」（仮称）の委嘱をします。（50音順、敬称略）

大野 俊明、竹内 浩一、林 潤一、村田 茂樹（以上全て日本画家）